

骨盤臓器脱に対する腔内ペッサリー

女性のためのガイド

1. 骨盤臓器脱とは何ですか？
2. 腔内ペッサリーとは何ですか？
3. 腔内ペッサリーはいつ使うのですか？
4. どのようなペッサリーが合いますか？
5. 他にどのような治療法がありますか？
6. 初めてペッサリーを入れた後、どのようなことが起こりますか？
7. ペッサリーの合併症はありますか？
8. ペッサリーによって日常生活が制限されることはありますか？
9. ペッサリーを挿入したまま性交渉は可能ですか？
10. ペッサリー使用時の腔内エストロゲン製剤の使用について

骨盤臓器脱とは何ですか？

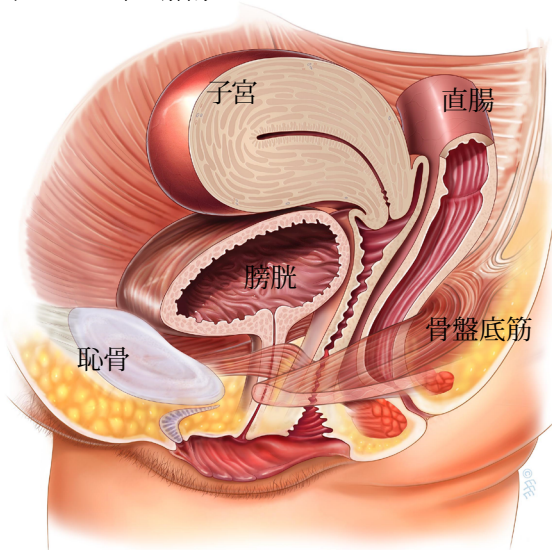
子宮や腔壁の脱出は50%以上の女性が経験する一般的な症状です。女性の約11%で一生の間に骨盤臓器脱に対する手術が必要になります。骨盤臓器脱は一般に子宮や腔の支持構造の脆弱性が原因で発生します。支持の脆弱化は出産時に誘発されますが、日常的に重いものを持ち上げる生活、便秘、慢性の咳、肥満などによる長期にわたる負荷で助長されたり、加齢によって増悪したりすることもあります。支持組織が遺伝的に弱い方にも起こります。

子宮脱は引きずられるような感覚や腔内の膨満感という不快な症状の原因となり、頻尿、残尿、尿路感染といった尿路症状をきたします。進行した症例では腔の出口を超えて脱出してきます。

腔ペッサリーとは何ですか？

腔ペッサリーは腔の中に留置する着脱可能な器具で、弱くなり脱出する腔壁や子宮を支えてくれます。異なった種類のペ

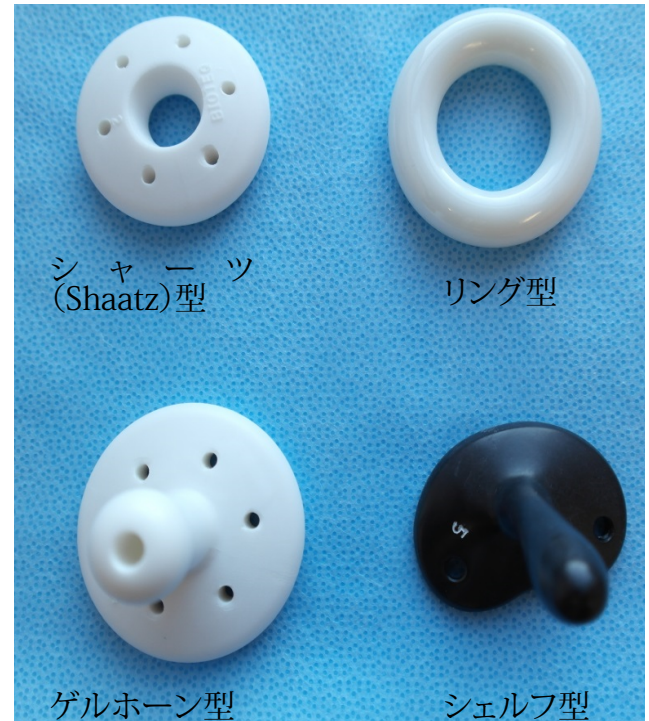
脱出のない正常の解剖



ッサリーが入手可能です。リング型、支持用の膜の付いたリング型、ゲルホーン型、キューブ型がよく使用されるペッサリーの形状です。リング型ペッサリーなどのいくつかのペッサリーは数か月にわたって取り外すことなく安全に腔内に留置し続けることが可能ですが、キューブ型ペッサリーは毎日必ず取り外してきれいにしなければなりません。ほとんどのペッサリーはシリコン製のため、柔らかく非吸収性で人体に影響を及ぼすことはありません。しばらくするとペッサリーの外表面が変色します。これは自然なことで、新しいペッサリーに交換しなければならないわけではありません。

腔内ペッサリーはいつ使うのですか？

ほとんどのペッサリーは子宮や腔壁の脱症状を改善するために留置されます（上記参照）。時として産婦人科医は運動中の尿漏れを予防、減少させるためにペッサリーを勧めます。家ペッサリーの種類



族がまだ完全に納得していなかったり、手術が危険となるような医学的問題を患者さんが抱えていたりして、手術を避ける、または遅らせたい方にはペッサリーが最適です。

どのようなペッサリーが合いますか？

最初の産婦人科診察時に脱出のタイプを評価してペッサリーを勧めます。主治医はそれぞれの患者さんに最適なペッサリーの型を決めるため腔を計測します。ペッサリーが小さすぎると自然に脱出したり、排尿時や排便時に脱出したりするかもしれません。ペッサリーが大きすぎると圧迫感があり、強い不快感があります。最も適したペッサリーのサイズや形を決めるため、いくつかのペッサリーを試すこともあります。

他にはどのような治療法がありますか？

軽度の脱出は理学療法のみで治療することもあります。より重度の脱出はペッサリーの使用か手術が必要になります。

初めてペッサリーを入れた後、どのようなことが起こりますか？

ペッサリーが腔内に挿入され適切に留置された後、一定の間隔で交換したり点検したりする必要があります。医師による違いはありますが、通常ペッサリーを洗浄したり交換したりすることや3～6か月ごとに腔内を確認することを勧められます。リング型ペッサリーを使用している女性の中には自分で外して

洗浄し再挿入している方もいますが、これは医師の指示で行ってください。キューブ型ペッサリーのように毎日脱着する必要のあるペッサリーもあります。そのために長期間の使用には不向きです。ゲルホーン型ペッサリーは重度の脱出に使用されることが多く、このタイプのペッサリーは通常医師や看護師によって外す必要があります。

ペッサリーの合併症はありますか？

出血/腔壁の潰瘍化

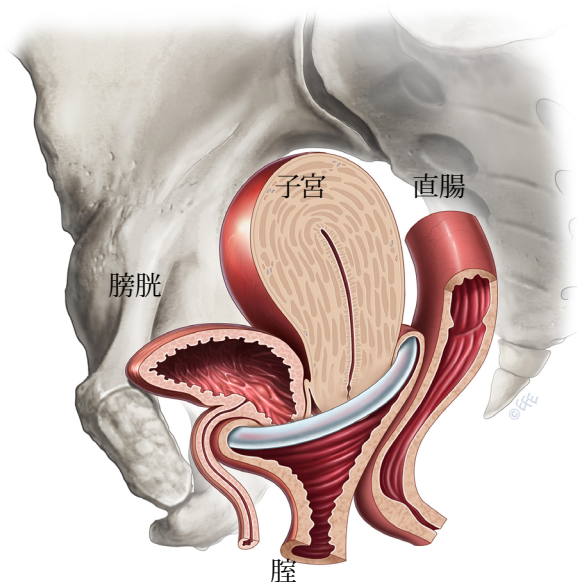
ペッサリーの型や大きさによって、腔に潰瘍が形成されることがあります。このような場合、ピンク色や血性の帯下を認めるかもしれません。潰瘍化した部分はペッサリーを短期間外しておくことで簡単に治癒します。もし血性の帯下に気づいた

あなたが性交を希望するのであれば、主治医にしっかり伝えてください。性交に適したペッサリーや他の治療法を計画します。

ペッサリー使用時の腔内エストロゲン製剤の使用について
閉経後、エストロゲン欠乏によって腔粘膜は薄くなり、腔内が乾燥します。そのためペッサリーによって潰瘍化しやすくなります。医師は腔粘膜を健康的に改善する目的でエストロゲン腔坐剤を処方することがあります。主治医はエストロゲンを使用することで起こりうる効果と副作用について説明します。

腔のエストロゲン治療についてもっと知りたい方は「低用量腔エストロゲン治療」の小冊子をご覧ください。

ペッサリーの装着



時は主治医に相談してください。

痛みや違和感

ペッサリーが腔内の正しい位置にあれば、挿入物を感じることはないはずです。もし痛みや異物を感じる場合、ペッサリーが大きすぎるか小さすぎる可能性があるので、大きさの違うものと交換する必要があります。このような場合は主治医に伝えてください。

帯下(おりもの)

女性のほとんどは少量の白い帯下を経験します。ペッサリーを挿入するとこの帯下は少し増えるかもしれませんが、色は付かず、嫌な臭いはありません。これらの症状は腔内の感染や潰瘍が起こっているかもしれません。多くの医師は腔の潰瘍のリスクを減らすため、エストロゲンクリームを処方しますが、これによってもクリーム状の白色の帯下が増えます。

ペッサリーによって日常生活が制限されることはありますか？
ペッサリーは日常生活の制限なしに症状を解決してくれます。例えば、スポーツや自転車、長距離の歩行も可能です。

ペッサリーを挿入したまま性交渉は可能ですか？
リング型ペッサリーを挿入中であれば、ペッサリーをそのままに性交することが可能です。あなたやパートナーが性交中にリング型ペッサリーが気になるようであれば、いったん外して性交後に再挿入することも可能です。ドーナツ型やキューブ型、ゲルホーン型などの他の型のペッサリーは腔内を大きく占拠するため、ペッサリーが入ったままでの性交は困難です。

IUGA ♀
international urogynecological association

この小冊子に記載されている情報は教育目的にのみ使用されることを意図しています。医師や医療従事者によって行われる特定の病状の診断または治療に使用されるものではありません。
Translated by: The Japanese Society of Female Pelvic Floor Medicine (JFPFM)